

東日本大震災復興支援事業

2015 がんばろう東北 SMILE PROJECT

協賛のご案内



がんばろう東北SMILE PROJECT

岩手県、福島県を中心とした被災地域の子もたちにアルビレックス新潟のホームゲームを通じて、元気や勇気、そして笑顔をお届けすることを目的とした東日本大震災復興支援事業。

練習場所の確保が困難となった被災地域の子もたちに、芝生の上で思い切りボールを蹴る楽しさを体感してもらい、スタジアムで感動し、Jリーガーへの夢や憧れを持ち続けてもらえるよう、ホームゲーム招待やアルビレックス新潟ジュニアチームとの交流試合を行います。

2015シーズンも昨シーズンに引き続き、アルビレックス新潟は被災地域の真の復興を願い、継続的に「がんばろう東北SMILE PROJECT」に取り組んで参ります。



■2014年招待事業

- 岩手県サッカー協会様、グルージャ盛岡・鳴尾監督のご協力の下、岩手県、大船渡市、釜石市、宮古市、久慈市のサッカーチーム所属の子もたち、コーチ、保護者様を2014年J1アルビレックス新潟ホーム戦に招待いたしました。
- また、試合観戦の翌日には、アルビレックス新潟の練習会場でもあるアルビレッジでアルビレックス新潟ジュニア交流試合を行い、親交を深めました。
- 本事業は、新潟県内25の企業・団体様からのご協賛金、ホームゲーム会場でサポーターからお預かりした義援金募金、復興支援SMILE(スマイル)シート、チャリティーブレス、選手会主催チャリティーオークションの収益の一部を招待経費に充当し実現いたしました。
- 「がんばろう東北 SMILE PROJECT」にご参加くださった全ての皆様に心よりお礼申し上げます。



2014シーズンは6試合にて「復興支援SMILEシート」を販売。(画像:ご購入者にプレゼントするチャリティーブレス)



選手からのメッセージ入りパス



アルビレックス新潟ジュニアとの交流試合

■招待概要

J1リーグ2015シーズンを通じて、岩手県・福島県沿岸部の子どもたちをホームゲームにご招待。

- 招待エリア: 岩手県・福島県沿岸部(昨年招待した大船渡市、大槌町以外の市町村)
- 招待対象: サッカーチーム所属の小学生(監督・コーチ、引率保護者含む)
- 招待回数: シーズン3回(予定)
- 招待人数: 各回バス1台・45名(ご協賛数によって増席されます)
- 内容: ホームゲーム観戦、スタジアム見学、トップチーム練習見学
交流試合、新潟市内観光(予定)
※ご協賛の総額により、内容が変更となる場合がございます。



★皆様からお預かりいたしました協賛金は以下の招待経費に充当させていただきます。

- 岩手県⇄新潟市内・聖籠町の貸切バス代金
- 宿泊費
- 食事代
- 市内観光経費
- 交流試合、クリニック時のグラウンド等施設利用料
- オリジナルTシャツ等記念グッズ
- アルビレックス新潟グッズ、お土産代



■ご協賛内容

- 契約期間: 2015年3月1日～2016年12月31日
※シーズンを通じてのご協賛、露出となります
- メリット
 - ①アルビレックス新潟オフィシャルサイト特設ページに御社ロゴを掲載・HPリンク
※シーズンを通じ、特設ページにて活動報告を掲載いたします。
 - ②招待試合にスタジアム大型映像装置にて御社名表示
 - ③オリジナルTシャツを3枚進呈
 - ④招待者への貴社製品のご提供が可能

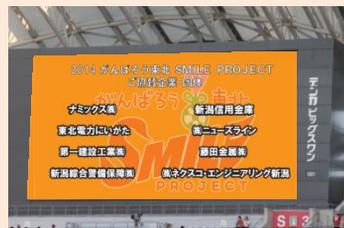
《オリジナルTシャツ》



《オフィシャルサイト特設ページ》



《スタジアム大型映像装置》



ご協賛金額 1口¥100,000(税別)

株式会社アルビレックス新潟 営業部パートナーシップグループ 〒950-0954 新潟市中央区美咲町2-1-10

TEL/025-282-0011 FAX/025-282-0013 [http:// www.albirex.co.jp](http://www.albirex.co.jp)

【参考】

～がんばろう東北 SMILE PROJECT～

■ 招待市町村(実績)

- ・ 洋野町 ・久慈市 ・岩泉町 ・宮古市 ・山田町 ・大槌町 ・釜石市 ・大船渡市 ・陸前高田市
- ※野田村、普代村、田野畑村にはサッカーチームなし

■ 岩手県沿岸部(被災地域)チーム

		チーム数	チーム数計	合計
小学校			14	47
中学校	中体連	13	15	
	クラブ	2		
高校	男子	14	18	
	女子	4		

<参考>

■ 小学校チーム ※14チーム

- ・長内 ・久慈 (久慈市)
- ・岩泉 (岩泉町)
- ・宮古 ・花輪 ・千徳 ・田老 (宮古市)
- ・山田 (山田町)
- ・大槌 (大槌町)
- ・釜石 ・KRT (釜石市)
- ・大船渡三陸 ・アルタス (大船渡市)
- ・高田 (陸前高田市)

■ 中体連チーム ※13チーム

- ・大野(洋野町) ・長内中(久慈市) ・岩泉中(岩泉市)
- ・宮古第一 ・田老第一(宮古市)
- ・山田中(山田町)
- ・大平 ・釜石東(釜石市)
- ・赤崎 ・大船渡 ・大船渡第一 ・甲子中(大船渡市)
- ・高田第一(陸前高田市)

■ 中学校クラブ ※2チーム

- ・大船渡三陸FC(大船渡市) ・FC釜石(釜石市)

■ 高校男子チーム ※14チーム

- ・大野(洋野町) ・久慈・久慈東・久慈工(久慈市)・岩泉(岩泉町)・宮古・宮古工(宮古市)
- ・山田(山田町) ・大槌(大槌町)・釜石・釜石商工(釜石市)
- ・大船渡東・大船渡(大船渡市)
- ・高田(陸前高田市)

■ 高校女子 ※4チーム

- ・久慈東(久慈市) ・宮古・宮古商(宮古市) ・釜石(釜石市)



..... 招待市町村

【参考】

高田フットボールクラブの子どもたちが、感謝の気持ちを作文にしてくれました。
キャプテンの松野来夢くんの作文を紹介します。

新潟で学んだ事(感謝の気持ち)

高田FC 松野 来夢

ぼくは、アルビレックス新潟の試合を観戦出来ると思ったとき、プロのサッカー選手のプレーを近くではやくみたくてと思いました。日は天気もよく、トキメツセ展望室から新潟の町をながめ、高田とは違いビルが沢山ありました。夜は楽しみにしていたサッカー観戦でした。だけど、サッカー観戦の前に、ふだん、ふううに入れない選手のロッカールームを見せてもらい、選手のユニフォームやスパイクを見る事が出来て良かったです。

試合開始と、同時に雨も降りだしたが、選手の迫力あるプレーに感動しました。一点のゴールを決めた時、ぼく達も応援が通じたと思えました。

次の日の、交流試合では、新潟のチームとの力の差を感じ、もっと練習ががんばりたいです。もっと時間があたら、もっと試合をしたかったです。昼食の時、アルビレックス

新潟の選手達が忙しいのにわざわざ会いに来てくれて、とてもうれしかったです。

この遠征で学んだ事は、沢山ありますが、ぼく達を招待してくれた人達、本当に、感謝の気持ちでいっぱいです。もっと練習してまた、アルビレックス新潟のジュニアのチームと良い試合が出来るように、がんばりたいと思いました。

新潟の皆さん本当にありがとうございました。皆さんも遊びに来てください。高田にも遊びに来てください。

